

## 【外国投資庁ジャパンデスクによるベトナム投資概況】

ベトナムは、新型コロナウイルスへの対策については国際的に高く評価されたものの、世界市場との観点からは経済に大きな影響を受けることとなった。第一四半期の GDP は前年同期比 **3.82%** の成長となり、**2011** 年からの過去 10 年間の統計で最も低い成長率となったものの、他国が受けた影響と比較するならば、影響は少なかったといえる。計画投資省では今後の成長率の見通しについて国会での報告を行った。今年度の GDP 成長率の試算について楽観的な数値は **4.5~5.2%** の成長を予測するが、悲観的なものでは **3.6%~4.4%** の成長予測となる。どちらの予測も変動の振れ幅が大きく、予測しにくい状況にある。

外国人投資家の株式購入出資・調整・新期登録資本を含む総投資資本は 4 月時点で、**123.2** 億ドルとなり、前年同期比 **15.5%** の減少となったが、**2016** 年~**2018** 年の同期比では増加 (**2018** 年比 **52.3%** の増加、**2017** 年比 **16.4%** の増加、**2016** 年比 **79%** の増加) となった。実行資本は、新型コロナウイルスの影響により、生産・事業活動における停止を伴ったため、前年同期比 **9.6%** の減少となる、**51.5** 億ドルであった。総投資資本は前年同期比では減少したものの、新規登録資本は **26.9%** の増加となり、調整資本は **45.6%** の上昇となった。これはベトナム投資環境に対する外国人投資家による信用を表現したものといえる。

**2020** 年 1~4 月における、有力な投資国からの投資は前年同期比で減少した。韓国 **9.91** 億ドル (**50%** の減少)、日本 **11.5** 億ドル (**11.2%** の減少)、中国 **10.5** 億ドル (**37.7%** の減少)、香港 **3.09** 億ドル (**93.4%** の減少)、アメリカ **9,650** 万ドル (**45.5%** の減少) である。

新型コロナウイルスの影響により、投資促進セミナー、企業セミナー、各種勉強会等の活動を含む潜在的な投資家の投資機会を検討するイベントは軒並み中止となった。外国直接投資 (FDI) 企業の生産・事業活動はサプライチェーンの毀損による影響を大きく受けている。それは今後、ベトナムへの外国投資にも影響を与えるものと思われるが、年末を迎える頃には、投資の回復や増加基調が見られ、**2021** 年にはさらに増加傾向を迎えると期待する。

(2020 年 5 月 26 日 ベトナム計画投資省外国投資庁ジャパンデスク)